

(公社)日本認知症グループホーム協会岡山県支部  
会員 各位

(公社)日本認知症グループホーム協会岡山県支部  
支部長 三宅 純一

## 合同研修会のご案内

# 2024年4月 介護報酬改正！！

## ～地域密着サービスの未来は～

このたび、別紙のとおり「岡山県小規模多機能型居宅介護連絡会」との合同研修会を開催させていただくこととなりました。迫りくる2024年4月の報酬改正において、地域密着型サービスの未来のあり方をいち早くキャッチできる、たいへん有意義な研修内容となっておりますので、皆様是非お繰り合わせの上、ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

なお、合同研修会は【第1部】のみとなっております。申込につきましては、別紙QRコードよりお申込みください。

日時：令和5年10月19日(木)  
10:00～12:00【受付；9:30～】  
会場：おかやま西川原プラザ 別館2階 第6会議室  
〒703-8508 岡山県岡山市中区西川原255番地  
講師：社会福祉法人 共友会  
理事長 岩尾 貢 氏  
費用：無料  
定員：150名(会場；50名。オンライン；100名)  
その他；詳細は、別紙資料にてご確認ください。

お問合せ先【事務局】  
株式会社 桜梅桃里  
担当；三宅, 吉岡  
住所；〒700-0822 岡山県北区表町1-8-61 ABCビル5階  
電話；086-238-8290 Fax；086-238-8291

## 合同研修会のご案内

# 2024年4月 介護報酬改正！！ ～地域密着サービスの未来は～

今回の改正は大幅な改定がおこなわれると囁かれています。地域密着型サービスと言われる事業所に求められて行く物を、分かりやすい説明でどこよりも早く情報を取得して来年度の対策を取っていきましょう。今回は会員事業所限定ですが合同開催の為、定員に達した場合は参加できない事もありますのでお早めにお申し込み下さい。

### ☆開催要項☆

日時：令和5年10月19日（木）受付 9：30～

講演 10：00～11：30

質疑応答 11：30～12：00

場所：おかやま西川原プラザ 別館2階 第6会議室

〒703-8508 岡山市中区西川原255 TEL：086-272-1923

定員：150名（会場：50名・オンライン：100名）

※定員数に達した場合はお断りさせていただきます。

費用：会員事業所のみが対象となるので無料です。

※各会員事業所は（小規模多機能型居宅介護連絡会・グループホーム協会）

内容：『地域密着型サービスの何が課題になるか？』

講師 岩尾 貢 氏（いわお みつぐ） ※経歴など別紙参照

※講演内の録画は絶対にしないでください。

申込方法：下記URLまたはQRコードからお申込みください。

※FAXの方は別紙 申込用紙を記入のうえ送信先までFAXしてください。

※オンラインの方には後日ID・パスを申込アドレスへ送付します。

申し込みURL：<https://onl.bz/KMmPjxB>



申込締切：令和5年10月6日まで

#### 【問い合わせ先】

岡山県小規模多機能型  
居宅介護連絡会 事務局  
小規模多機能ホームせとうち内  
担当：田中寿一  
TEL0869-22-2626

## 経 歴

氏 名 : 岩 尾 貢 (いわお みつぐ)

## 【 職 歴 】

昭和44年 精神科ソーシャルワーカー  
 昭和47年 加賀神経サナトリウム医療相談室 勤務  
 平成1年 介護老人保健施設 加賀のぞみ園 副施設長  
 平成13年 介護老人福祉施設 サンライフたきの里 施設長  
 令和2年 社会福祉法人「長久福祉会」 副理事長  
 令和4年3月 社会福祉法人「長久福祉会」退職

平成18年 龍谷大学 社会学部 地域福祉学科 教授  
 平成21年 龍谷大学 社会学部 地域福祉学科 教授 辞任

## 【 現在の社会的活動 】

社会福祉法人 共友会 就労継続支援事業所（A型）（B型）「矢田野ファクトリー」  
 認知症対応型共同生活介護事業所「グループホームやたの」  
 小規模多機能型居宅介護「はしたて」「きんめい」「やたの」  
 認知症デイサービス 等 理事長

石川県精神保健福祉士会 顧問  
 石川県福祉サービス第三者評価推進委員会 委員  
 石川県津幡町 政策アドバイザー  
 石川県地域密着型サービス連絡協議会 顧問  
 石川県長寿社会プラン策定検討委員会 委員  
 認知症指導者

地域密着型サービス事業所の拠点機能を活用した地域包括支援センターの効果的な運営に関する調査研究 委員

精神障害者の生活支援及び就労支援に取り組む

1700年代に入り認知症の相談が増加 家族の負担軽減と当事者の安全と保護への取り組み  
 認知症の理解の間違いに気づきかわりの困難さに意味があることの確信のもと行動の意味をを問い  
 続ける。

当事者のニーズを中心とした取り組み

地域と共にある